

令和3年度 大阪府立春日丘高等学校 学校運営協議会（全日制部会）  
書面開催にかかる意見書 主な意見まとめ（議事録）

| 学校運営協議会(全日制部会)意見集約記録 |                                                                                          |    |           |     |       |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|-----|-------|
|                      | <table><tr><td>校名</td><td>府立春日丘高等学校</td></tr><tr><td>校長名</td><td>中原 光子</td></tr></table> | 校名 | 府立春日丘高等学校 | 校長名 | 中原 光子 |
| 校名                   | 府立春日丘高等学校                                                                                |    |           |     |       |
| 校長名                  | 中原 光子                                                                                    |    |           |     |       |
| 開催時期                 | 令和3年 7月 書面開催                                                                             |    |           |     |       |
| 開催場所                 | メールもしくは手紙にて意見聴取                                                                          |    |           |     |       |
| 委員                   | 花崎会長、磯村委員、藤岡委員、有福委員、辻井委員、川中委員                                                            |    |           |     |       |
| 学校側関係者               | 中原校長、宮城教頭、松葉事務部長、池田首席、大岡首席、吉新指導教諭                                                        |    |           |     |       |
| 傍聴者                  | なし                                                                                       |    |           |     |       |
| 協議資料                 | 令和3年度 学校経営計画及び自己評価                                                                       |    |           |     |       |
| 備考                   |                                                                                          |    |           |     |       |

いただいた主なご意見

1)「令和3年度の重点項目」に関すること

＊一人一台端末への対応ならびに Google クラスルームの活用促進は個々の教員で、または教科によって、対応に大きな差が出ると予想されますので、教員へのきめ細かなサポート体制が重要になってくると感じます。

＊キャリア形成支援に関しては、生徒たちが現時点で見えている世界がきわめて限定的であることを生徒自身が理解することが重要であり、医学部や薬学部のように資格取得をめざす学部以外を志望する場合には、現時点での志望動機に拘らずに、将来フレキシブルに進路を考える姿勢を持たせることが肝要かと思います。

＊「ひとり一台タブレット導入」や「新学習要領に伴う対応」など新たな取り組みがあるとのこと。チーム一丸となって取り組んでいただきたいと思います。

＊ひとりに一台タブレットを導入するにあたって、活用方法としては、プリント等のペーパーレス化、課題提出、板書といったところでしょうか。

2)「令和4年度使用教科書（選択・採択）一覧表」に関すること

＊タブレット上のデジタル教科書に加筆できたりすると、ペーパーレスにもなり便利だと思います。従来の本の方が、学習が進む場合も大いにあると思いますが、教科などによっては、デジタル化も有りだと思います。（美術、音楽、保健体育、資料教科書など）

### 3)「行事予定の変更について」に関すること

\* 体育祭や文化祭などの行事は内容の変更はあったとしても、中止することなく行っていただきたいと思います。しかし、最近の高校生の様子を見ているとコロナウイルス感染予防の意識が低くなっているように感じられるので、いま一度マスクやアルコール消毒などの徹底を呼びかける必要もあると思います。また、芸術鑑賞や講演会などの行事も生徒の進路に関わることもあるので、中止にしてしまうのではなく、オンライン等に変更するなど、何かしらの形を残す方がいいかと思います。

\* 「緊急事態措置」と「まん延防止措置」が繰り返し発令され、当初の行事計画も中止や延期を余儀なくされている様子、コロナ禍での学校運営の厳しさを感じました。しかし、学校行事やクラブ活動は、生徒達にとって高校生活の思い出の1コマです。感染予防を講じた上で、できるだけ実施の方向で検討していただければと思います。

\* 府の方針や保護者、地域住民、教職員等、それぞれとの調整で、行事の開催中止・延期の判断は相当困難だと存じます。個人的な見解ですが、実質的な感染防止対策をし、withコロナで対応できる行事は、ぜひ前向きな実施方向でご検討いただきたいと思います。

\* 2学期には文化祭・体育祭も控えています。また、2年生（75期生）の修学旅行も予定されています。どの行事も生徒たちにとってはかけがえのない行事です。生徒の安全を第一にしながらも、様々な工夫をこなして臨機応変にご対応いただき、できる限り生徒の学び・体験の場を確保していただきますよう、よろしくお願い致します。

以上